

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月1日(日)18:30~19:30

○場所:野町公民館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>子供は学校のみで育てるものではなく、地域の中で育つものだと思う。特に小学校低学年では生活圏としてのコミュニティの中で成長する。小学校再編をしたとしても、子供たちには地域文化を継承して成長してほしいと思っている。</p>	<p>ご意見として承ればよいか。(了承)</p>
<p>1小学校1中学校ということで小学校の6年間、中学校の3年間を同じメンバーで過ごすことになると思うが、1度おかしな人間関係になってしまうとそれが継続してしまうということには注意してほしい。今までは、6小学校が1つの中学校に集まるといことで、そこで新たな人間関係ができていたと思うが、再編されればそれができなくなると思う。</p>	<p>その意見については保護者説明会でも多かった。我々としてもその問題については認識している。今回提案しているのは、850人規模の学校だが、子供たちの基本的な生活圏は学級であって、心配していただいた点については学級編成の際に注意する等して対策を講じる。中学校に上がる際は連携を密にする等の対応をしたい。懸念された点は十分に配慮したい。</p>
<p>国の適正人数を大きく超えて、850人規模の学校を作る理由はあるのか。</p>	<p>資料にある人数はあくまで標準であって基準ではない。日本全体でみると学校全体の人数で540人を超える学校が2割ほどある。今回あえて850人規模の学校となっているのは、今回示している6小学校のうち5小学校が児童数の上で問題を抱えている。一方、モノの点、校舎の面については、現状水田小学校は老朽化による問題を抱えており、この、ヒトとモノの問題を一挙に解決するために示しているのが今回の提案。たしかに、国の標準を大きく超えているので課題があることは理解しているが、たとえば、水洗小学校と古川小学校の統合を考えると、現状で240名程度にしかならない。先々再度統合をしなければならなくなる。今回提案している案では課題があるのは承知しているので、何らかの対応を講じる必要は感じている。たとえば養護教諭を2名体制にしたり、職員数を増やすなど具体的な対応を考えていく必要を感じている。今回の提案はヒトの問題とモノの問題を一挙に解決できないかという思いで提案している。</p>
<p>経済的な問題ということか。</p>	<p>それも含んでいる。水田小学校は校舎の老朽化当施設の問題により児童にはかなりの迷惑をかけている。今まで校舎の老朽化に対する手立てを講じなかった教育委員会の問題ではないかと言われれば確かにそうだと思っている。施設面での解決策としては単独で水田小学校の改修工事をすればいいということになるが、児童数の減少という問題を抱えた現状を踏まえてこの提案をしている。児童の教育環境及び学校の施設面での充実という点では小学校が統合し、そこへ重点投資ができれば児童にとっても有利に働くと考えている。したがって、財政上の問題のみで再編の提案をしているものではないということをご理解いただきたい。</p>

<p>船小屋の新幹線の駅ができたのはそこを起点に市の活性化を目指そうということだったかと思うが、その新幹線の駅の付近の小学校がなくなればそこに子供を連れてきた若い家族が引っ越すだろうか。それを考えると新幹線の駅の付近には児童数は少なくとも学校はなければいけないと考える。また、再編は一挙にするのではなく段階的に統合すれば駅の近辺に住む住民も希望が持てるのではないか。</p>	<p>保護者説明会でも段階的に統合できないかという意見は多く頂戴した。将来的な長い目で見たときに提案している案が良いのではないかと考えているが、市民の皆様の意見を踏まえて枠組みをどうしていくのかということの説明会終了後にもう一度検討したい。意見として承るがよろしいか。(了承)</p>
<p>統合することを仮定すれば、現在の水田小学校はそのまま、新小学校が建つのか、児童への授業面での影響はなく建設されるのか。また、運動場の利用についてはどう考えているのか。</p>	<p>新校舎の建築には3年程度を要するという見込みだが、その間、水田小学校では授業をしながら、現在の校舎と別の場所に新校舎を建築したいと考えている。水田小学校の児童については完成したのちに新校舎に移ることを想定している。児童への支障がないように工事をしなければいけないとは考えているが、現状で詳細は決まっていないので、これ以上は申し上げることができない。</p>
<p>野町行政区の話だが、今後人口の増加が見込まれる。頭が痛いのは、通学区の見直しについて。再編以前にこの問題がある。野町行政区からは、水田小学校・筑後小学校・水洗小学校に通う児童がいるが、運動会等のイベントは水田小学校からは案内が来るが、他の2校からは案内が来ない。PTAは他の2校の行事にも参加しているが、行政区の役員は他の2校のイベントには参加していないという不思議な状況にある。行政区は認められていないという感じがする。案内が来ないということは教育委員会も認めていないと考える。保護者が勝手に他の2校に子供を通わせているという考え方でよいのか。児童数が増えてくれば、こちらの学校のほうが近いが行政区で学校が決まるので、近い学校にいけないという問題が増えてくる。先ほどの話では校区の見直しはしないということだったが、行政区としては、水洗小学校・筑後小学校に通う児童の保護者へは、とりあえず野町行政区に入るようにという話でいいのか。いつまでもそうした問題を抱えたままでいいと思っているのか。</p>	<p>特別許可区域については積極的に拡大しないという考えを持っている。なぜかというと、行政区が地域コミュニティの核であり、そこで交流がなされ、一つの文化が形成されている。それを大事にする必要があると考えているため。そうは言っても現実問題として、指定された学校よりも近いという地域があるのは理解している。その解消のための特別許可区ではあるが、今回の再編によって、そこも多少解決されると思う。校区と行政区の考え方は、変える必要はないと思っている。</p>
<p>教育委員会としてはそれでいいと思うが、地域で子供を見守っていく立場からすれば、水田小学校に通う子だけ見守ればいい、他の2校に通う児童は見守らなくていいと、そういうことか。</p>	<p>そういうつもりはない。地域の子供たちなので、通う学校で区別してほしいわけではない。地域の方々にも、他の2校に通う子供たちも同じように見守ってほしい。</p>

<p>結論は出ないと思うが、野町行政区では人口が増えるので、それを問題視している。地域の問題を教育委員会にも理解してほしい。行政区で区切るのではなく、近くの学校に通うというのが基本的な考え方だと思う。あの学校に通いたい、この学校に通いたいというのであればそうさせるのが理想だと思うが、施設等の点でそうできないのは理解している。しかし、あまりに強く行政区で学校を指定してしまえば問題があると思う。今後の検討課題としてほしい。6校を1校にするということだが、水田小学校が統合する理由として施設の面を挙げられたが、羽犬塚中学校・筑後北中学校区の学校についても統合するのか。その2校区の小学校についても同様に施設の老朽化は問題となっていると思うが、どうするのか。その考え方もお示しいただきたい。</p>	<p>今の時点ではその問いに対する答えは持ち合わせていない。今回示しているのは学校再編ということで基本構想の中で2段階での統合を検討していたものを1段階にする。さらに、その中には水田小学校は含まれていなかったが、水田小学校を含めることで、水田小学校が抱える、モノの問題も市として合理的に解決する。児童にとっても有効な案として示している。ここで他の2中学校区の問題を出されても回答はできないし、今の時点で他の2校の再編は考えていない。</p>
<p>【意見】今後非常に難しい問題が出てくると思う。教育委員会の考えということで今回は受け入れるが、地元としてまとめることは非常に難しいと考える。</p>	

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月10日(日)19:30~21:00

○場所:古川小学校

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>筑後市南部の人口増が見込めないことが本当であるならば、今まで筑後市は人口増のために、どのような取り組みをしてきたのか。なぜ人口増につながらなかったのか。</p>	<p>すべて市が行ったわけではないが、人口増につながる施策として南部全体で言えば、市営住宅井田団地の建設、九州新幹線筑後船小屋駅の開業、それに伴う道路整備、県南広域公園の設置などに取り組んできた。その他、直接人口減少対策につながるかどうかは別として、南部は農村地帯なので長期間にわたり、農業を活性化させる施策を行ってきた。筑後市の人口は、2040年までに約7,000人減少すると言われている。そのような中、市南部の人口が増えるかということ、そう容易いことではない。現在、筑後市の人口はたまたま横ばいで、人口が増えている地区も一部あるが、統計上、少子化はずっと続くので人口は間違いなく減少する。もちろん、できるだけ対策はするが、そういう大きな波に打ち勝つのは至難である。増やすのは難しいが、どれだけ減少を抑えるかが大事である。</p>
<p>近年、数十年に一度の災害が毎年起きているし、これからもどんどん増えていくと思う。新学校はマンモス校となるが、災害が起きた場合、学校への児童の迎えはどうするのか。混雑して収拾がつかないし、家族に連絡が取れないということがあるのではないか。東日本大震災時は、翌朝まで家族が迎えに来ない児童もいたと聞いた。</p>	<p>校長先生等と教育委員会で一緒に考えていきたいと思っている。今年の8月9日に豪雨対策の管理職研修会をする。その中で今言われたような課題について、どのような解決策があるのかということを検討する。すべて解決するのは難しいかもしれないが、例えば校舎の上部に避難をさせて、地域ごとに迎えの時間を設定するなど、可能な限り対応できるよう考えていきたい。</p>
<p>850人規模の学校となると、例えば運動会等で自分の子や孫が出ているか、出ていないか分からない状態になるのではないかという不安がある。どうしても大規模校にしないといけなく理由は何か。古川・二川・水洗小学校の3校統合でもいいのではないか。 また統合すれば、校長も教頭は1人となり、教職員も減るので、その分の人件費は削減されるが、そういうことは何一つ説明されない。金銭的な問題があるのであれば、そのことについても説明してもらえないと納得できない。</p>	<p>教職員や校長先生の給料は、国と県が負担しており、市は支出していないので市の財源にはならない。建物の維持管理費等については、市にとってのメリットがあると思う。試算はある程度しているが、この説明会ではそこまで出していない。いずれの校区でも、保護者の方から「850人というのは大規模すぎる」ということや、「運動会等の際、保護者の駐車場はあるのか」など、心配する意見をもらっている。そういうことも今後考えなければいけない。また、1つに統合するのか、分けて統合するのかということも含めて検討していきたい。</p>
<p>各地域には、それぞれの伝統や文化がある。本当に1校に再編できると思っているのか。また、再編は時と場合によっては必要だが、新たな教育方針をきちんと想像してもらえないといけない。 数年前、前中村市長は「筑後市の人口減少は三十数年前から分かっているが、地域とともに頑張りましょう」と言われた。あなたたちの説明を聞いていると、その時に聞いたことと整合性があるのかが分からない。学校がなくなれば、古川校区に住む人がいなくなる。そうなったら責任をとってくれるのか。</p>	<p>地域コミュニティの核が学校であるということは十分理解している。それぞれの地域文化は継承していきたい。例えば、今、古川小学校の児童が参加している日源上人の顕彰祭で言うと、新学校になったとしてもスクールバスを活用して、ある学年が参加するなど、現在の6小学校区の子どもたちが今の各地域の文化に触れる機会をつくることは可能であると考えている。 前中村市長が発言したことについては、「人口減少社会は厳しいし苦しいし、すぐ努力をしなければならぬ。小学校再編というのはきついかれども、どのような形がいいのか一生懸命皆さんで考えましょう」という趣旨であったと理解している。</p>

	<p>また、学校がなくなれば地域の活性化がなくなると言われたが、転居する人がどのような要因で居住地を選ぶのかと言うと、通勤や通学、買い物の利便性や土地の値段、小学校の人気である。今、小学校はどこが人気かという、筑後小学校や羽犬塚小学校であり、若菜の自由区はほぼ羽犬塚小学校に通っている。それなりに大きい学校ができて、新しい設備が整い、安心してスクールバスに通えるとなれば、古川校区に住み、新しい学校に通うということもメリットの一つとしてはあると思う。プラスかマイナスかというのは人それぞれである。どのような教育をするのかということについては、校舎の新築には、今の水田コミュニティセンターの跡地を利用するので、コミュニティ施設がなくなる。そのため新小学校の中に複合施設をつくらうと思っている。例えば、デイサービスでお年寄りの方に来てもらえば、子どもたちと触れ合うことができる。そういうことが可能な学校にしたい。いわゆる福祉教育などは充実させることができるのではないかと思っている。子どもたちが地域の中に入る、あるいはお年寄りの方と交流する機会をつくっていききたいという構想を持っている。</p>
<p>あなたたちが考える学校や教員の仕事とは何か。</p>	<p>子どもたちの可能性をのばすことである。</p>
<p>筑後市南部は新幹線駅や県南広域公園、タマホームスタジアムもでき、人口増につながる取り組みをされてきたと思うが、人口はますます減少している。例えば、将来的に人口増が見込めるのであれば、6校ではなく、3校ずつの統合でもいいと思う。保護者は子どもがスクールバスで通うことをメリットとして考えているのか。地域の人が見守っている道を通学の方が安心するのではないか。また、統合すれば若い人は学校の近くに住みたがり、古川校区は年寄りばかりになる。学校の統合は必要かもしれないが、もう少しじっくり考えてもらいたい。今ある施設を活かして、人口増につなげてほしい。 古川・水洗・下妻小学校、水田・二川・古島小学校の3校ずつの統合は全く考えなかったのか。</p>	<p>今回の提案は子どもの数の問題と校舎の問題を合わせての提案であるということを説明した。そうは言いながらも、850人というのはかつてない数であるので、不安であるというのは十分理解しているし、それに伴ってどういう対策をするのかということは今後考えていきたいと思う。私たちが教職員の数を増やすことはできないが、養護教諭の二人体制を要求したり、校長、副校長、教頭という体制をとったりすることなどは可能であると思う。しかし、私たちがあまり良いことだけを先に言って、進めたくはない。正直に現状の中でできることを提案して、実際学校ができたときに、説明を聞いたときより良かったと思ってもらえるようにしたい。</p>
<p>小学校の跡地利用についてはどう考えているのか。</p>	<p>現時点できちんとした考えはないが、再編の枠組みが決まれば、どういう使い方をするのか、地域の皆さんと一緒に考えていきたい。</p>
<p>適正な学校全体の児童数は240人から540人、筑後市における適正な学校数は8校から9校とあるが、再編すれば児童数は850人、学校数は6校になる。そういうことも含めて総合的に判断したのか。</p>	<p>古川と水洗小学校を1校にするとした場合、何年かするとまた単学級になってしまう。前の案のとおり、古島・下妻・二川小学校を1校にしたとしても、将来的には単学級になるだろう。そのため、総合的に考えると、6校を統合することによって、将来にわたって持続的な一定水準の教育環境を維持することができるのではないかとということで、今回提案をさせてもらっている。ただ、多くの心配の声もあるので意見を整理し、最終的にどうするのかを考えさせてもらいたいと考えている。</p>

<p>誰と検討していくのか。</p>	<p>この案は、庁内検討委員会で作成し、市の経営会議に諮り、市長の意見をもらい、議会で説明をした。今回の説明会やアンケートでもらった意見を踏まえ、再度、庁内検討委員会を開く。また、アンケートは筑後中学校区の市民1,200人を対象に、郵送でも実施しているので、それも含めて分析をし、検討していきたい。</p>
<p>確認だが、6校統合は決定しているのか。</p>	<p>意見をいただいて変更すべきところはしていかなければならないだろうと考えている。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月12日(木)19:00~20:30

○場所:下妻小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>再編計画の決定権は教育長、市長は予算の決定と思うがどうか。再編計画自体は何らおかしくないものだと思っているが、その決定の手法が一切書かれていないのが問題。それを示してほしい。</p>	<p>再編計画は教育委員会だけで決定するものではなく、市としての考え方を踏まえて決定するものであると考えている。 *学校の設置・管理・廃止の権限は教育委員会(教育長と教育委員の合議体)にある【地教行法23条】。市長の職務権限としては教育財産の取得・処分がある。</p>
<p>31年度には基本構想に移るとのことだがこれはもう30年度に計画が決定し、実施に向かっているということ。どのような手段で計画を決定するのか。パブリックコメントや住民投票やアンケートや様々な方法があると思うが。教育長としてはどのような手法で決定をするのか。</p>	<p>説明会での意見及びアンケート。もう一つは郵送によるアンケート。これは筑後中学校区にお住まいの方を無作為に抽出して送付している。庁内の検討委員会で、頂いた意見と現在の案を見比べて検討した後市長へ報告をし、市長の承認が得られたら議会にもご提案をさせていただく。</p>
<p>跡地の利用については現在検討していないということだが、教育委員会としては跡地の利用については検討していないのも納得できる。都市計画・地域支援課といったところで検討されると思う。この学校は再編した後は撤去するのか。下妻小学校プールの2階はコミュニティ施設として利用しているがこれも撤去するのか。決まっていないのであればコミュニティ施設の購入については誰が支出するのか。それを先に決定してほしい。現在のコミュニティ施設は行政財産だが、再編をすれば一般財産になると思う。下妻のコミュニティセンターを買わなければいけなくなると思う。土地についても市の土地から一般の土地になるため、地域で使用するというのであれば購入しなければいけなくなる。これは教育のことではなく、地域のことであるため教育長はお答えいただけないと思う。もう一つは学校内にゴミ捨て場があるが、学校自体が再編されればそこはどうなるのか、ゴミ捨て場はなくなるのか。これはかんきょう課の所管だと思うが。学校がなくなれば、学校内にあったゴミ捨て場もなくなるというのが自然な考え方だと思う。どうお考えか。</p>	<p>跡地利用について現在決まっていないのは枠組みが決定してから検討したいと考えているため。というのは、再編自体の議論と跡地利用の議論を同時にしてしまうと收拾がつかなくなるため。ただ考えているのは地域の住民に迷惑をかけるような跡地利用はしない。この場では純粋に学校再編に係る議論ができればと思っている。</p>
<p>これは教育の話ではなく、地域の問題。たとえば庁内に地域連絡協議会などの検討機関を設置するべきだと考える。下妻小学校には児童も少なく、だからこそ、学校自体のことよりも地域全体の話重要視している。平成31年度には基本構想に移るとのことなので30年度には計画を決定することなのであれば、本年度中にそうした検討機関をどのように設置するのか。それをお答えいただきたい。</p>	<p>ご意見にあったように行政財産でなくなれば普通財産となり売り払われるというのが基本だが、それは基本であって地域の方々に利用していただくこともできる。組織として跡地の利用について決定をする場は現在ない。それは先ほど申し上げたように再編自体の枠組みが決まっていないため。枠組みが決まっていないうちに議論をすることは難しい。ただし、一定の方向性が見いだせられれば早急に検討していきたいという思いはある。</p>

<p>今の説明は逃げ道でしかない。この再編計画についてはおそらく反対はないと思う。そうであれば廃校ができてしまうのはわかりきっている。それなのに跡地の利用について考えていないというのは怠慢であると言わざるを得ない。事前に検討しなければいけないことなのではないのか。</p>	<p>今の意見はある意味再編をしなければいけないという意見であったのでうれしく思う。 ただ、おっしゃるほどの(再編についての)コンセンサスは得られていないという思いの中でこの説明会を実施して、ご意見を頂戴している。</p>
<p>私が言っているのは、再編はもう決まっているものとして考えその決定の手法について明確に示されていない。何年度にアクションプログラムを策定するといったことが示されていないのが問題だといっている。</p>	<p>申し訳ないがそこまでは検討できていない。このスケジュールについても案であるが、跡地利用や学童の問題それぞれの検討スケジュールを示せばよいが、そこまでは現段階で用意ができていない。</p>
<p>教育環境はヒト・モノ・コトと書いてあるが、私は教育にはカネは使っていないと思っている。一定カネを使ってすばらしい教育環境を目指すと言ってほしい。850人規模の学校であれば県下でも有数の大規模校になると思うので県下有数の教育環境を目指してほしい。また、教員の確保についても尽力する必要があると思う。</p>	<p>教育環境はヒト・モノ・コトと書いているが、カネはモノに含んでいるものと思っている。新設校にはモノに重点的に投資したいと思っている。教職員の充実という点については現在も努力しているが、再編されればより努力したいと思っている。</p>
<p>地域の子供たちは非常に少ないので集団登校ということよりもスクールバスで安全に登下校ができるようにしてもらえるのはありがたく思う。もう一つは私は中折地に住んでいるので新設校から2km以内に入っていると思うので徒歩通学になるが、2kmという根拠は何か。しっかりとした考えを持って検討していただきたい。</p>	<p>現在市内での最長の通学距離は2.7kmとなっている。直線距離で換算すると2km程度になるのではというのが根拠。</p>
<p>2度目の説明会だが、前回の説明よりも充実してきており、再編のイメージがつかみやすくなってきたように思う。先ほどのカネについては充実して投資してほしい。また、筑後中学校付近に新設されれば、現在は田んぼになっており更地として利用することも可能である。建設上の自由度が高いため、よりよい学校ができるのではと思っている。</p>	<p>筑後中学校の付近がいいという意見は多くいただいた。筑後中学校の付近のメリットも多くある。引き続き検討していきたい。</p>
<p>学校を建設する建設費はどうするのか。学校教育に予算を割くということは他の予算は減少されるということになると思うが、大丈夫なのか。 当該年度の予算はどうなるのか。 撤去費用についても起債が適用されるのか。 撤去費用については市の負担になるのか。結局市の負担が増えるのか。 再編も決定しているということで理解すればいいのか。そうならば跡地利用についても検討しなければいけないのではないのか。</p>	<p>起債を購入し、その償還分については元利の償還分に財源手当があるのものでそういったものを利用する予定。 起債はその年度に借金をするという事。 水田小学校の撤去費用については起債が適用される。撤去費用については、補助金などを利用し市の負担を減らすよう努める。市保有の公共施設全体のマネジメント計画を策定しており、全体の費用が抑えられるよう計画している。 再編はまだ決定していない。先ほど申し上げたのは全体の公共施設の話。再編の話が決定すれば、全体のマネジメント計画に併せる。現在マネジメント計画があるからといって再編もそれに含まれているというものではない。</p>
<p>魅力ある学校ということだが、学校施設にコミュニティ施設を併設と記載があり、当面の間は各校区のコミュニティ施設の利用も可能とあるが、合併するまでの当面の間なのか、合併してから当面の間なのか。</p>	<p>合併してからの当面の間。地域の意思でどうするのか決められるまでの間ということ。</p>

<p>たとえば、この3校区のコミュニティ協議会は合併する。下妻校区は単独でやっていくということをこれから話していくということか。</p>	<p>所管としては協働推進課という課があるので、再編の枠組みが決まったのちに検討する場を設けたいと考えている。</p>
<p>施設面での話もあったが下妻小学校区には防災施設もない。そうした中で再編されれば地域が寂れるのではと懸念している。小学校が再編し、新設校で高齢者との触れ合いをと言われても、実質水田に新設校ができれば、下妻小学校に住んでいる高齢者が新設校までいくとは考えにくい。やはり現在の校区コミュニティを大切に、コミュニティの施設を建ててほしい。コミュニティについては今後も検討してほしい。</p>	<p>枠組みが決まれば精力的に検討していきたい。新設校の説明のなかにコミュニティについての説明の記載があるので誤解をされてしまったかもしれないが、今のコミュニティとは別に地域の方々の施設という意味で考えている。福祉教育と書いているのは、スクールバスを利用して旧校区ごとの高齢者にスクールバスでお越しいただいて児童と触れ合っていたらいいということも可能だと思っている。</p>
<p>適正な学校規模の記載があるが、自分たちの感覚からすれば児童数は多ければ多いほど鍛えられていいのではと思うが、今の保護者は自分の子供のことをよく考えている。その保護者達に、大規模校でも安心できると説得できる自信はあるか。</p>	<p>保護者説明会の中で最も多かった意見はやはり、今の学校規模と850人規模の学校ということで規模があまりにもかけ離れているという意見。我々としてもそこは検討しなければならないと考えている。久留米にも1000人規模の学校があるが児童についての問題はあまり見られないと聞いている。また国が示している数字は標準であって、その標準に当てはまっているのは全体の30パーセント。先ほどから申し上げているようにアンケートの結果等により検討したい。ただ、養護教諭の2名体制等の対策は現段階で考えている。</p>
<p>【意見】跡地がどうなるかが最も心配。情報共有に心掛けてほしい。</p>	

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月17日(火)19:00~20:40

○場所:古島小学校多目的ホール

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>説明会等の意見は反映されるのか。説明責任はどうするのか。</p> <p>筑後市は単年度赤字解消に億単位の経費削減に向う厳しい財政状況。縦割り行政なのか、更に事業費負担を上乗せする児童教育の環境(再編成)が勝ると決めた判断か。</p> <p>H35年6校合併試算850人一挙に建設(案)は1クラス35.5人で24教室。児童数推移の減少推計値から、毎年平均15.9人減る。あつという間の10年後には約160人が減り、今の1小学校分に相当する。20年後はどうなるか。</p> <p>10~15年後に余ってくる教室の建設事業費の無駄に繋がる。以後は、更に負の遺産の責任は誰がどうするか。</p> <p>補助金は貰い得他人の金みたいに大金数億円、我々の血税も扱い軽いとしか思えない。現在各小学校の耐用年数の調査をして、まだ使える資産(学校)は少しでも無駄なく使う。児童減少推計から無駄な教室を減らすため、H35年完成の建設規模850人24教室を、例えば18教室の4~5校の一次編成、6校編成固守なら最終編成時期はその10年後にすると無駄は解消できるのでは。箱もの建設の失敗例は多く、よく繰り返されて来た。資産の事業費活用や利用は同時に検討するのは普通常識である。3月の説明(案)資料は問題定義の段階。説明会、役員会は多くの懸案、環境、安全、経済性、将来性など考慮し優劣を極め選択したもので説明協議を行ってほしかった。</p> <p>どう考えても無駄ではないか。ハコものを別に使うこともできるだろうが、別に考えるべき。H52には人数が減る。</p>	<p>説明責任については、この説明会、アンケートを持ち帰り集約し、例えば、意見が出ている2段階統合案等、多くの地域、保護者から出されている851人という数に対しての心配の度合いが高いためものなどについては検討課題としたい。</p> <p>今回の案を実施できれば、児童数と校舎の老朽化の課題を一挙に解決することができる。平成39年度までに6校の校舎とも40年を経過する。今の再編案を延ばすと個別改修が必要になる。財源は一括してかかるが、長い目でみれば、市の財政にもマイナスにはならないという論での提案である。H52は確かに減る。20年後には小中一貫や中学校を小学校に移すなどある。子どもの数が減ることは現実としてあるだろうが、推計のとおり減るかは別問題。構想としては「無駄は出ない」という思いで取り組む。</p> <p>将来どこかで再編しなければならない3校(下妻・古島・古川)もどんな教育活動でもできる。子どもの数によって教育活動が良い・悪いはないという考え方は持っている。将来の市の財政を考えると今回の提案は1番合理的であるという提案。今手を入れて(改修して)そのあと再編ではそれこそ無駄になる。</p>
<p>6校すべてに手を入れる状態ではない。10年間だけ修理した状況でカバーできないのか。</p> <p>最初から数字を決めてから(試算してから)作って説得しているようにみえる。こういう数字を出されると文句を言いたくなる。</p>	<p>意見としていただく。</p>
<p>子どもが2km以上歩くことになる。安全対策はどう考えているのか。</p>	<p>学校が決まれば通学路が決まる。点検により危険箇所の把握を行い、役所内の関係者(国・県・警察等)との組織で対策について協議する。実態を把握し開校までに安全対策をきちんと行う流れである。</p>

<p>保護者アンケートの集約はあるのか。どんな意見が出ているのか。</p>	<p>保護者説明会でのアンケート結果は、「問2: 筑後市において小学校の再編は必要だと思いますか」 →「必要である47.3%」「必要でない16.7%」「わからない30.5%」 「問3: 今回提案の6小学校を再編する計画についてどう思われますか」 →「進めてほしい: 18.0%」「進めるのは仕方ない: 43.1%」「中止してほしい: 22.2%」 「わからない: 13.4%」という結果である。他にも質問項目はあるが、中心的な部分はこの部分と思われる。</p>
<p>児童推計の資料のS62の多い数字とH19の少なくなつてからの数字を比べると錯覚をする。急に減つたのではなく、徐々に減ってきている。なぜ、この一番多い時の数字か。古島は172人から66人になり、こんなに減っていると思う。</p>	<p>再編の話が出た時のデータである。S62ぐらいにこの学校が出来ている。その時の数と10年前の(再編)議論が出た時の数である。そして今回の議論の数を示している。H35は今現在、生まれている子どもたち。</p>
<p>統廃合になり、仮にこの校舎が空いたときに再利用または解体は決まっていない。岡山の真備町にボランティアに行った。避難所の学校体育館は責任者の学校長と市職員で運営していた。筑後市は学校体育館の冷暖房がないため、ここ(古島小校区)は島田公民館である。解体されたら大災害の時に校区の大勢の人が避難できる施設がなくなる。その場合、市として新たな施設(ハコもの)を作るのか。どうするのか。校舎をどうするか議論すべき。災害は必ず起きる。また、2kmという線引きせず、安全対策は大丈夫なのか。</p>	<p>跡地については、今は白紙。新設校の今の構想には、6校区のコミュニティ施設としての複合施設の建設を予定している。 今市内全体で最も長い徒歩通学の地域の距離が2.7km。直線2kmが通学距離2.7kmで収まる試算。あくまで試算であるため、スクールバスの運用(バス停の数など)の実際議論が始まってから、また人数も年度ごとに変わるため見直しが必要になってことなども踏まえて、新たな小学校検討委員会を作りその中で一つの部門として議論を行っていきたい。</p>
<p>再編計画(案)は具体的にどこで決定するのか。自分たちの意見はどう反映するのか。</p>	<p>これまでの意見、アンケートの集約等により考え直すことになった場合も含め市内の小学校再編検討委員会にて計画案の確認を行い、市長トップの経営会議にかける。そのうえで議会に予算を提案し可決しないと計画は進まない。最終的には市からの提案(予算)を議会で可決してもらうことによって決定ということになるだろう。</p>
<p>地域全体の賛成か反対かは行わないのか。アンケートが大事ということか。</p>	<p>アンケートは大事であると考えている。なお、地域にもアンケートを出している。</p>
<p>自分の子どもの時も統合の話があった。人数減等を考えると統合はある程度はやむをえないが、子ども目線も大事だが、親の負担がかかるのではないのか。遠方の友だちの家に行くときに送迎、行動範囲の拡大(自転車で遊びに行ったときなど)、クラブ活動の送迎などの負担、共働きが多いなかでの負担の対策はあるのか。</p>	<p>子どもたちの行動範囲の拡大は、これまでも意見があった。今後の検討の課題としたい。</p>
<p>小・中9年間同じメンバーになる。クラスになじめない子・いじめにあった子はどうするのか。不登校とかは増えないのか。なじめなく転校した子もいる。どう考えているのか。</p>	<p>1小1中は結構あり、義務教育学校もあるが、節目(小学校卒業・中学校入学)は必要と思っている。(義務教育学校)のデータとしては不登校が減ったなどある。あくまで学級単位での世界観になる。小規模で1クラスよりも3~4クラスで学級編成が可能になるので乗り切れると思う。</p>

<p>タブレットなど新しいものは市全体になっていき予算が上がるのでは。</p>	<p>どこの学校も行うのが基本。今も全部を行うのに金はかかっている。集中投資ができるようになってくる。</p>
<p>財政面は他のところで捻出してもらいたい。下妻・古島は自然豊かでよい環境で教育ができています。水田は道路環境が悪い。3校統合でならないかと思う。</p>	<p>検討させていただく。</p>
<p>【意見】 3校統合に賛成。851人体制(4~5クラス)になると先生の目が行き届かない。親も心配する。まずは3校からで。現水田小は交通量も多く、徒歩・自転車・バスなどが混在し現実的に困難ではないかと思う。場所は筑後中近くの方が環境としてよいのでは。 6校集まると発言力は本当に高まるのか。個々の能力ではないか。大きくなって小さくて変わらないのではないか。</p>	
<p>アンケート中「問3」は6校だけではなく3校の計画も入れていいのでは。</p>	<p>すでに発送済み。保護者説明会も同じアンケートを行っている。意見として3校、2校など書いてある。そういう意見は汲み取っていきたい。</p>
<p>学校教育について、少なすぎる(現古島小1学年10名ぐらい)弊害があるが、いきなり800人は多い。先生としても子どもを覚えたりできない。よくなることに納得できない。通学路の安全面が心配。地域の不審者等わからない。学校がなくなったら地域はさびれる。若者は水田に住む。地域活性化はない。いきなり6校は多い。地域から声が上がればしやすいだろう。6校統合したら教育の質、教員の質が上がることはない。地域をどうするかも案に出してほしい。</p>	<p>子どもの数が多くても少なくてもメリット・デメリット両面あることは認めている。「6校は多い、3校ぐらいでいいのでは」という意見は多数ある。検討させてもらいたい。大きくなっていいことはないと言っているが、小規模校で1学年1人になると担任の力量がすべてになる。複数学級あると力量の差はあっても指導法など話すことによって学年全体が向上する。ずば抜けていいとは書いていない。学校の力量の安定感や継続性はある一定の規模があった方がいいと考えての提案。それが6校必要かになるが、今回は財政論と合わせた提案になっている。</p>
<p>地域(黒木町)がさびれている話はある。学校だけでなく地域全体のこととして考えるべきである。必要であれば、有識者会議などで聞くこともありでは。 地域は学校中心に物事を考えている。南西部は衰退する。</p>	<p>再編で地域がさびれていく話はある。黒木町で小学校再編をみてきた。山間部の学校跡地は手が入らず再編後1年で荒れた。仮説だが、筑後市は平地なのでその論はないと思う。人は大きな学校があるところに流れている。一つにまとめることによって、どこに住んでも新しい学校に通うことができる。山間地域の学校がなくなったら人は平野部に降りてしまい、さびれる話とは違うと考えている。 みやま市の桜舞館小学校は、まだ人口移動は聞かない。平地にあるため跡地の活用も活発である。山間部の再編と平地の筑後市とは違うはずである。だから、学校をどこに持っていかかが議論になる。今回は大きな案であるが、小さい再編だどこに建てるか、それに跡地の論議になり収拾がつかないため、今回は跡地の議論については、今はしないということにしている。学校再編の枠組みをきちんと作りたい。</p>
<p>【意見】跡地利用としては、災害等地域の人々が寄れるところや図書館など足りないものを地域に建てると活性化するのではと思う。</p>	

<p>スクールバスについて、直線2kmだが、入学後登校ルートを確認して決めたらどうか。ざっくり2kmではなくきちんと考えてほしい。</p>	<p>通学距離、方法については、枠組みが決まったあとに新しい学校づくりのための委員会を作る。その中で、地域、保護者と一緒にどうしていくのか細かいところ議論して決めていきたい。あくまでの線引き、基準である。</p> <p>現在、通学距離が最長となる地域の距離が2.7kmである。直線2kmで実際は2.5kmで収まるのではと考えている。これを直線1.5kmにすると他の校区にもスクールバスが必要ということになり、話がまとまらなくなる。今歩いている子たちを基本として考えさせていただきたい。</p>
<p>【意見】就学前児童と小学生を持つ母親。H35の時は5年生。以前の合併の時はしたくないと思ったが、今、自分の子どものクラスが少ないのを見ると、あの時に合併しとけばよかったと思った。3校で合併しとけばクラス替えなどあったはず。少ない中で気があわない話も聞く。6校850人が多すぎるかどうかはわからないが小学校再編は行ってほしい。友達も多くなる。適正人数ぐらいまでには行ってほしい。</p>	<p>意見としていただく。他にも同様の意見がある。</p>
<p>市内全体での再編は考えているのか。</p>	<p>今回の計画ではそういう考えはない。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月18日(水)19:00~21:05

○場所:二川小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>スクールバスが運行する朝夕の時間帯は交通混雑が予想されるが、そういったスクールバスの問題点をどう考えているか。スクールバスを朝、夕方以外の時間に福祉バスとして転用できないか。</p>	<p>スクールバスの検討段階では、最低10台程度運行することを想定している。交通混雑については、バスが接続をする地点を工夫する必要はあると考えている。市立病院やトライアル付近から水田コミュニティセンター付近の道路も大きな混雑が生じないように開校までに対策を講じていく。スクールバスの通学以外の利用については、スクールバスの契約の仕方によるので、今後検討していきたい。</p>
<p>自由区(特別許可区域)の若菜については、再編を決める前段に、どういった考えを持っているのかを説明してほしい。</p>	<p>現在のところは、積極的な拡大は考えていない。利便性を高めるために自由区を広げてほしいという声もあるが、一方では地域の一体感、特に子ども会などがまとまりをつくるため苦勞しているため自由区はなくしてほしいという声もある。再編の枠組みが決まった後に、他にもある自由区を含めて検討していく。</p> <p>自由区の問題については、兄弟で通っていたり、すでに家を建てたりしているところは配慮をしないといけないため、解決するまでには10年以上もかかる。原則は1つの行政区は1つの学校という考え方であるが、市民に迷惑をかけないように形で検討していく。</p>
<p>校区コミュニティ協議会の活動については、二川小学校との関わり合いが多くある。再編して二川小学校がなくなることになれば、自然と後退していくのではないか。校区コミュニティとPTAとの関係が薄れてしまわないか。</p>	<p>校区コミュニティについては、小学校再編の枠組みが決定後、話を進めていくことになるが、43行政区を一つのコミュニティにまとめることは難しいと考えている。基本的には、現状の校区コミュニティを維持すると想定している。子どもたちの見守りやスクールバスの乗り降りの見守り、地域のイベント等は新学校になっても地域との連携は続いていく。</p> <p>また、校区コミュニティとPTAとの関係については、おそらくPTA組織の中でも地域の役割があるので前小学校区単位が残るのではないかと想定している。そうなったら今までどおり校区コミュニティとPTAの連携はとれるのではないと思う。</p>
<p>6校を1校に統合すると850人を超え、大規模すぎるのではないか。2校または3校に統合したほうがいいのか。また、水田小学校は適正規模なので、答申では統合が必要な学校にはなっていないが、今回統合するのはなぜか。</p>	<p>水田小学校は適正規模であり本来は統合の対象ではないが、校舎が古いという課題がある。また、適正な児童数は240~540人だが、平成35年度には二川・古島・下妻は267人、古川・水洗小は247人と最低近くの人数になってしまい、また再編をしなければならない可能性があるため、水田小学校の児童を入れないと、また将来再編を繰り返さないといけなくなる。児童数が一定レベルの教育環境を維持するため、また校舎の老朽化が進んでいる学校(水田・水洗・古川)もあるという状況から、6校の統合がベターだと考えている。</p> <p>統合の規模については、説明会終了後に、説明会やアンケートの意見を集約して、議会へ報告をして、方針を決めていきたい。</p>

<p>850人を超える大規模校になって、教育効果は高まるのか。</p>	<p>ICTの活用や英語教育などについては、新しい環境整備で教育効果は上がると期待している。また、新学校に併設する複合施設は、新しい校区のみなさんが活用する施設となる。高齢者との交流は教育の重要な要素だと考えているため、高齢者にスクールバスを活用して各校区から来てもらって子どもたちの交流の時間をつくるなど新たな取り組みをしていきたい。</p>
<p>再編については、財政問題が背景にあるのではないか。6校統合による市税の削減効果はどれくらいか。校舎の建築費以外にもスクールバス運行や学校給食に係る人件費などのプラスやマイナスなども含めて試算しているのか。</p>	<p>校舎建設・維持管理費、スクールバス、人件費など再編に係るすべての経費について試算を行っている。6校統合による削減効果は高いと判断している。3月議会の全員協議会では、50年間の校舎建設・維持管理費の市の負担額が20億円弱軽減すると説明している。 *ただし、軽減額は試算の条件が変われば、変わるため参考としての金額となる。</p>
<p>直線距離で2km以内は徒歩通学ということだが、二川小学校付近の若菜から新学校まで2.5km以上あると思うが徒歩通学になるのか。机上で距離を測って決めるのではなく、実際に歩いて決めてほしい。</p>	<p>徒歩通学の距離については、今回の提案では、現状を踏まえた一定の基準は必要であるため、直線距離で2km程度としている。これは、現状で最長2.7kmを歩いてもらう地域があるので、再編対象外の他の学校にも影響が及ばないようにするためである。スクールバスについては、再編の枠組みが決まった後に校区ごとに委員会を立ち上げて、地域にあった運営のあり方を決めていきたいと考えている。また、古川小から水田小までは実際に歩いているが、他のところも歩こうと思っている。</p>
<p>説明会とアンケートの意見が重要になるということだが、それだけで十分とは思わない。多方面の方の意見も聞きたいのでパブリックコメントを要望する。</p>	<p>対象校区の保護者や地域の住民の方への説明会を開催して意見をいただいている。他にも、対象校区以外の市民の方も対象にした説明会も開催予定である。また郵送でのアンケートも実施している。こういった取り組みで、パブリックコメント以上の意見を出していただけると考えている。</p>
<p>二川小学校校区における人口対策はどのような取り組みをしたのか。対策を何もしないと減少するばかりなので、手立てを考えてほしい。</p>	<p>二川小学校区のみを対象とした人口対策はないが、市の南西部エリアにおいて市営住宅井田団地の建設、九州新幹線筑後船小屋駅の開業、それに伴う道路整備などに取り組んできた。筑後市の人口は、2040年までに約7,000人減少すると言われていている。そのような中、近隣市と比べると、筑後市の人口は横ばいなので人口維持には効果が上がっているといえる。地域の活性化についての心配をされていると思うが、重要なのは地域の活動を活発にするため、子どもたちやその保護者、地域の役員の方たちといった地域と行政とが連携して取り組むことだと考える。</p>
<p>地震・火事・水害などの災害について、新学校は850人1学年5クラス程度となるが、災害が起きた場合、大人数だと子どもたちの逃げ遅れや怪我などが心配される。どのような対策を考えているのか。</p>	<p>保護者の不安は理解しているので、学校として最善の努力をしていく。8月9日には豪雨対策の管理職研修会を予定しており、まずは教員への研修を行ない、子どもたちへ避難のあり方や避難するの力をつけるための教育をしていきたい。また、新学校の防災マニュアルを作成するなど対策をしていきたい。</p>

<p>郵送でもアンケートをしているということだが、回収率はどれくらいか。重要な内容だと思うので回収率を上げる努力をしてほしい。</p>	<p>今回のアンケートは実施中のためわからないが、一般的に市で実施するアンケートの回収率は30数%で、未回答者に催促のハガキを出す50%くらいにはなる。</p>
<p>自分は街中の学校に通ったので、学校の友達も多く、いろいろな経験ができたので、大規模の学校のメリットもあると思う。現在子どもを学校へ預けている世代や、今後学校へ預ける世代の方が意見が重要だと考えるが、そういう方たちの意見を聞く必要があるのではないか。</p>	<p>5月の段階で、未就学児の保護者の方への説明会を実施している。今回の地域住民の方たちの意見も聞いて、集約をしていく予定である。また、7月21・22日にはサンコアで全市民を対象に開催するので、今まで来られなかったにも来ていただきたいと考えている。</p>
<p>新学校の場所は、水田小学校で決定なのか。</p>	<p>地図を見ていただくと、水田小学校がちょうど6校の真ん中にある。また、経費・時間などの問題から水田小学校とコミュニティーセンターの場所がベターだと考えているが、筑後中学校の隣接地も候補として上がっているので、今後検討していきたい。</p>
<p>住民にはまだ再編のことは浸透していないのに、再編を急ぐのはなぜか。住民に周知するために、行政区に出て行って説明をするようなことが必要だと考える。</p>	<p>10年前、30年前にも再編案は出ており、議論が続けられてきている。今回の提案は、「31年度までは再編統合はしない」という方針(26年3月)を出しており、29年度中には今後の方針を出さないといけないため、30年3月議会に提案させていただいている。議会からも丁寧に説明するよう意見をいただいていたので、手続きとしては、区長の代表者会、区長会の全体会、幼稚園・保育園の園長会等で説明を行ない、未就学児の保護者へは郵送で説明会へ案内している。また、区長に集まっていた行政区ごとに説明会をしたほうがいいか説明会の持ち方についても諮ったうえで、水田の野町だけ行政区単位で、それ以外は校区単位での説明会という形で開催させていただいている。</p>
<p>統合すれば、6校の跡地が残るので、コミュニティーセンターとしての活用ができるように残せないか。</p>	<p>基本的には、売却ということになるだろうが、残して地域の方が利用することも十分考えられる。</p>
<p>例えば、若菜は羽犬塚小学校のほうが近くなるので、若菜を羽犬塚小学校へ再編するというような、行政区の枠組みを見直すことも考えてはどうか。</p>	<p>今回の再編については、地域の繋がりを大事にするという視点から、筑後中学校区の中で再編をする計画になっている。徒歩通学の距離が長くなるところもあるが、ご理解をいただきたい。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月25日(水)19:00~21:20

○場所:水洗小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
6校合併することがベターと言えるのか。	<p>持続的に一定の水準の教育環境を提供していくことが大きな目的の一つ。具体的には複式になることは避けたい。対象校は、古川小、下妻小、古島小が複式学級の可能性が高い。複式学級になると授業の在り方、先生の配置の数など教育環境が厳しくなる。それに加えて、1学年1学級の学校も避けたい。1学年1学級のクラスもいい関係が築ければいい関係のままで教育環境が保つことができるが、仮に1年生のときに人間関係が崩れると6年間同じ状況が続くので解消が難しいということもあり、1学年1学級の学校も減らしていきたい。そういった考えの中で、以前の答申をいただいていた水洗小と古川小の統合は、2学級のクラス替えができる学校になるが、将来的にはそういう状況ではなくなる。古島小、下妻小、二川小も同じような状況になる可能性があり、また、合併の協議をしないといけなくなると、市の体力や教育の面でもかなりの労力を使うことになる。これからも持続的な環境の下で教育を提供していくためには、6校がベターであるということでの提案である。</p>
財政的な事情だけで、決めていいことか。9年間協議をしたのか。	<p>継続的に庁内検討員会で、児童数の推移を見ながら検討というかタイミングを計っていた。また、H31年度に下妻小が複式になるかどうかの推計があった関係もあり、H31年度まではこのままでH31年度以降を考えていこうという経過があったため、今回提案をさせていただいている。</p>
宮崎県や兵庫県など合併をせずにいろいろチャレンジしている自治体の調査をして、統合をしなくても良い方法で進めるべきではないか。	<p>小学校の再編には、いろいろな考え方がある。今の子どもたちに良い教育環境を作ることも大事だし、負の財産を継続的に残すこともNOだと思っている。今の段階では、ベターな案だと思って提案させてもらっている。ただ、アンケート等でご意見をいただいて検討させていただこうと思っている。山間地域の再編統合と違い、平地である筑後市はどこに新しい学校を作ってもOKであり、市の所有地を活用したほうがスピード感があるのではないかと。水洗小も水田小も校舎が古いように、今の子どもたちに迷惑をかけているという現状を何らかの形で打破したい。校舎の問題、児童数の問題がある学校があり、一極集中ができるのであれば、そこで学ぶ子供たちにとってもそこを守っていく地域の人たちにとっても有意義ではないかと思っています。今回提案をしている。</p>

<p>小規模の学校でも教育効果を上げることができる。 地域の伝統を引き継いでいくことに教育の根幹がある。 地域の長年の歴史・伝統・文化を慎重に考えるべき。 合併した後の学校跡地の活用も示してほしい。 水洗小校区で尾島と志はスクールバス利用ではないが、1年生は慎重に考えてほしい。 それぞれの学校への思いがある。 水洗小校区コミュニティ協議会はすばらしく、任された役割を担っている経過も考えてほしい。</p>	<p>それぞれの地域の学校に対する思いは理解しているつもりである。そういう中で現在の状況から考えて提案させていただいている。子どもの数が多い少ないで教育活動が充実するしないという観点は持っていない。多くても充実するし、少ないなら少ないなりにそれぞれの学校でそれぞれの実態・地域に応じた教育ができていていると思っているので、先ほどの発言と同感である。ただ、今後の世の中を考えると、ある程度子どもが切磋琢磨できる規模が必要ではないかということで今回の提案させていただいている。人の面(子どもの数)で課題と考えるのは、1学年1学級の学校である。教育方法は、それぞれ充実しているし、今も充分やっもらっている。 地域のことについては、それぞれの地域文化は、狭い文化だなと感じている。例えば、古川小の日源上人などの伝統を、他の校区の子どもたちが知っているのか。筑後市のそれぞれの文化をひとつの大きなまとまりとして学ぶことは、魅力がある。例えば、スクールバスで移動したり、ある学年を毎年経験させるなどして、はんぎりやドロリンピックも新しい学校でも継続してできていると思っている。 跡地の活用については、枠組みが決まらないと、どこが跡地になるか決まらないので、まずは、どういう枠組みで教育環境を維持するのかを決め、そのあとに、地域のご意見をいただきながら、地域や市として有効な活用を考えていきたい。 スクールバスは、一定の基準を作らないといけなと思っています。今一番遠いところで2.7km、直線距離で概ね2.0kmという中で概ね2.0kmという考えをもっているが、地域を含めて委員会を作り、実態に合わせてよりよい通学のあり方を協議させていただきたいと思っている。</p>
<p>市長の意気込みを聞きたい。財政的にどう考えるのか財政課長を含めて協議したのか。</p>	<p>市長の意気込みを受けてここにきている。庁内検討委員会や経営会議にも、財政課長も入っている。財政シュミレーションもしている。</p>
<p>「明るい未来～」とあるが、教育環境はできるかもしれないが、生活環境はできるのか。 (筑後中校区を)一つにまとめて、子どもたちに教員の目が行き届くのか。 「切磋琢磨」とあるが、いじめの拡大につながるのか。</p>	<p>いじめに関しては、今までの説明会でも一番心配が多かった。850人と児童数は多いが、学級単位で組織されるので、学級編制できるなどのよさがある。一人ひとりに焦点をあてると、学校の大小でいじめにはあまり関係ない。ある程度、子どもの目(数)があったほうが、子どもの正しい目を育てるほうがいじめの抑止力につながると思う。</p>
<p>資料のデメリットにある、学習面・生活面「教職員による～一人ひとりの把握が難しくなりやすい。」運営面「教職員相互の連絡調整が図りづらい」「保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。」とあるが、対策は。</p>	<p>小学校は、学級担任や学年という組織で子どもを見ていく。1,000人規模である久留米市の西国分小学校校長によると、マンツーマン対応にはならないが、学年で見っていくので、意外とうまくいくと聞いている。細心の注意を払う必要はあるが、養護教諭を2人体制など定数以外の配置をしてもらおうなどの努力をしてきたい。 保護者と地域との連携も同じで、クラスの子ともと学級担任とのつながりが大事である。校区が広くなり過ぎて、遊びに行く心配はでてくるので、一定の制限は必要であると思っている。</p>

<p>学校は、残してもらいたい、財政面を考えるとある程度仕方ないところもある。</p> <p>新小学校の場所は、工期がかかっても、筑後中隣接地がよい。理由は、県道や南北道路が整備されていること、小中が隣接していたほうがよいこと、水田小周辺の道路は整備が必要であること、水田コミセン野球場の代替地の問題、水田小地域は民間活用が可能であり収入が見込めること。</p>	<p>他の会場やアンケートでも、場所は筑後中の隣接地がよいなどのご意見いただいているため、今後、しっかり考える必要がある事項だと思っている。</p>
<p>前回の答申である西牟田小と松原小の再編はなぜ消えたのか。</p>	<p>検討素材として、西牟田小と松原小の再編が消えた訳ではなく、深刻な学校が筑後中校区ということで、まずは筑後中学校区の提案をさせてもらっている。</p>
<p>古島、下妻校区は、再編後どうなるのか。</p>	<p>再編が決まった後に、校区コミュニティなどの連合体を作って地域と協議を行いながら、学校との連携を詰っていく。</p> <p>跡地については、学校がなくなると売却が基本だが、活用したいということであれば地域の意見を聞きながら協議をしたい。</p>
<p>下妻、古島校区の地域住民から合併の要望があったのか。</p>	<p>(下妻、古島校区の)地域からの声が上がった訳ではないし、賛否両論ある。</p>
<p>数年前、まちづくり懇談会で、水洗校区の活性化について質問したところ、〇〇活性化委員会の方針を待って対応するとの説明があったが何も動きがない。</p> <p>船小屋周辺の活性化について、活性化の可能性はあると言われたが住民と市が一緒にやっていく姿勢がみえない。</p>	<p>〇〇活性化委員会と言われたが、筑後七国で観光の振興をしようという協議会ができ、次にソフトバンクを応援し地域が活性化するための協議会ができ、今、活性化策を実施している。水洗小校区だけに限定せず、広いエリアで取組を行っている。</p> <p>新幹線駅周辺の開発については、市の税金を投入するなど、行政は先行投資を行った。今から先は、民間がやる部分と民間と行政が共同していく部分の模索・検討はしている。</p>
<p>地域コミュニティが衰退しないように合併を進めてほしい。</p> <p>水田コミセンには野球場・テニスコート・武道場などの施設があり、各団体が活用しているが、代替地が示されていないので、各団体や利用者が心配している。H31年度の基本構想がまとまるときまでには、早めに示してほしい。</p>	<p>水田コミセンについては、大変なご迷惑をおかけすることになるが、活動の場はきちんと確保していきたい。跡地活用の中で代替施設を含めるかも考えていきたい。</p>
<p>学校現場の先生の意見は聞いたのか。</p> <p>子どもが主役のはずが、大人の事情で進んでいないか。子どもたちに不安を与えている。</p> <p>例)水洗小学校区のJR踏切(筑後中学校の東側の変則道路)</p>	<p>再編方針は校長会で説明している。</p> <p>11校が6校になることで、教育投資が充実してくるということは、子どもたちにメリットが期待できる。新しい学校は、子どもにとって魅力であり、学力向上効果も期待できるし、新設の校舎などすばらしい環境を作っていく。決して大人の論理だけではない。</p> <p>変則道路の交差点改良工事(変則道路の正常化、交差点を東側にずらす、信号設置など)は県道のため県に要望していく。踏切の中(北側)の歩道設置についてはJRと協議していく。</p>
<p>地域の連携がなくなっていくのでは。校区コミュニティを一つにまとめることが前提であるが、コミュニティに代わるものがないと地域は崩壊してしまう。</p>	<p>校区コミュニティを一つにまとめるかどうか決められるのは、地域の意思。</p>

<p>校区コミュニティの再編は、地域の意思を尊重するのなら、学校再編も地域の意思を尊重するのか。また、このような説明会をするのか。どういうときに再編をやめるのか。</p>	<p>今の提案を変えるときは、説明会を持たなければいけないと思っている。 アンケートの結果を見て原案の見直しが必要かどうかは判断する。</p>
<p>アンケートを開くときには、立会人はいるのか。信頼できないので、立会が必要。</p>	<p>信頼いただけるような手段を検討する。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年8月1日(水)18:30~20:00

○場所:水田コミュニティセンター

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>新学校にコミュニティ施設を併設するとあるが、現在水田コミセンは、避難所、コミュニティ協議会事務局、小学校エンジョイ広場、地域デイサービス等に活用している。ここに校舎が建つとしたら、この案にある構想ではなく、前もって別の場所に施設を建ててほしい。計画してすぐに学校はできない。その間も活動する場所が必要。</p>	<p>今回の案は、コミセン、野球場、武道場、テニスコートなどの利用者には非常に申し訳ない。またご迷惑をかけることについては、お詫びを申したい。この集会場も年間8,000人という多くの人々が利用しているのは認識している。学校が建つとそこに複合施設の併設を行う考えで、ここ(コミセン)に代わる施設を予定している。野球場などは、ここに作るのは難しいため、活動の場については検討が必要。検討の候補は跡地になるだろう。市としても有効な使い方を考える必要がある。地域の意見を含め考えていきたい。</p> <p>学校が建つことが決まらないと具体的には話ができないことを了承してほしい。</p>
<p>まずは、学校を建てるという話だが、地域としては、ここ(現在の水田コミセン)が必要である。だんだん活用している人数も増えている。その間(工事期間)は仮の施設が必要。</p>	<p>工事期間の代替施設については、施設をまた作ることはお金がかかるため、いろんな工夫で対応できるもので、例えば、空いている各行政区の公民館、市の施設(サンコア、チクロス)の利用等工夫をしていきたい。地元の方からも意見(民間施設の利用など)や案があれば教えてもらいたい。きちんとしたもの(建物)を準備するのは難しい。</p>
<p>H36開校時は850人である。適正人数は540人。また、増えて分かれなれないといけないということにはならないか。(最近、福岡市で新しく出来た翌年にまた増えて分かれたという話がある)人数は想定してからのものか。</p>	<p>中長期的にみると人口は減っている。児童数も減ると推計している。</p>
<p>(以前の再編の話)H19の時に白紙に戻した。この時に想定はできていた。そのため、他の校区から来たりしていたでは、H36の851人は適正規模を超えている。</p>	<p>今回は、複式解消のための特別転入学制度は行わない。解消に時間がかかる。教員の配置等の工夫によって複式解消を行う。適正規模は超えているが、将来的に考えなければならない。以前の話があった二川・古島・下妻のH36は264人になり240人の適正規模になるが、その時点での適正規模で話を進めるかということになる。将来的には、また統廃合の話がでてくる。850人はスタート時には大きな数であるが、将来的に適正規模になる学校を創るということで考えている。</p> <p>再編を繰り返すことは、学校にとっても子どもたちにとってもエネルギーがいることである。水田小は適正規模で関係ないが、水田小が入らないとこの論が成り立たない。もう一つは、校舎の老朽化もある。申し訳なく思う。できるだけ早く校舎を整備するためにも、新小学校の場所にコミセンを使わせてもらいたいとの提案である。</p>
<p>【意見】水田校区はあまり変わらないだろうが、他の校区は心配。児童の安全対策をしっかり行ってほしい。地域の方と対策をしてほしい。</p>	

水田小の保護者。今の水回り等を考えると(設備が)よくなることは賛成。児童数が3倍に増えるので、校舎が大きくなるのか。	新しい学校であるので、児童数に応じたものを造ることになる。
現在、小学校の入口が2か所。南口は、車幅に対して通りが多い。検討してほしい。	道路が狭い等の意見は他からもある。通学路が決まったら担当部署とともに対策・整備を行う。
水田コミセンの周りは大雨の時に水が増す。避難場所でもあるが、危ないので対策も考えてほしい。	学校は防災機能の役割もあるので考えていく。
水路が北と南にある。そこを整備すると解決するのでは。	道路と合わせて情報を教えてほしい。
下妻小の泥リンピック、古島小のはんぎりなどがなくなるのは残念。続けてほしい。	ひと・もの・ことの「こと」である。それぞれの校区に行事があるが(水田小の山榎窩祭など)他の校区のこと(行事)を子どもたちは知らない。今回の6校再編で他の子どもたちも知る機会が増える。新しい学校の同じ学年の子が体験することもできる。福祉体験としてデイサービスを新しい学校の併設の施設にスクールバスで高齢者に来てもらい交流することができる。(少人数校であれば1人が多く時間を割くことになるが、大きくなればクラス単位で対応することもできる)
マンモス校になると運動会等イベント時の駐車場の確保を検討してほしい。600台ぐらい必要になるだろう。イベント時は地域の人困る。羽犬塚小みたいにバスなどの公共交通機関はない。統合はいいが、やるなら考慮してほしい。学校のイベント(もちつき大会)等が続ける場合PTAが大変である。運動会のテントのスペースは確保できるのか。	他の説明会でも意見があった。年間を通してではないため、(羽小など)近隣の民間施設の駐車場等を借りているのが現実である。一つの方法として考える。850人になると2.9ha必要であるがこの敷地は3.3haあるためグラウンドのスペースは確保できる。校舎の配置、スクールバスの停車場等も含め配置は検討していく。
【意見】自分の学校は2,000人いた。50年後、30年後を考えたらどうなるかを考えるべき。 議会などではなく、住民がこれからどうしていくかを話すべき。	
6校統合すると地域との関係はどうなるかの懸念がある。事件(女子児童に声掛け)などが起きている。地域に学校がなかったら通学路の見守り等ができるか。学校に愛着がなくなるのでは。どう考えているのか。	地域コミュニティの連合体などこれまで違ったものを作って学校と連携するなど、地域と学校のつながりは必要であるため、何らかの形で推進していきたいと考えている。 通学路の見守り、通学対策、防犯対策などは統合しても地域にお願いしたい。スクールバスの乗り降りなどは新たに地域に協力していただくケースもあるだろう。学校・地域・行政が話すことによってやっていくことができるのではとの期待はある。
複式対象になる学校の方々はどう考えているのか。それがまとまらないと6校再編はできない。	意見(アンケート)を集計している。集約後分析する。さまざまな意見がある。850人が多すぎるとか。6校は大きい、2校、3校はどうかなど。意見をきちんと把握をし今後どうしていくか考えていきたい。今の段階でどうかは言えないが、6校統合を進めることに賛成の意見が多いのも事実である。

<p>6校統合は正式に決まったものか。個人的に3校がいいと思う。6校になったら筑后市南部は過疎化になる。水田だけ栄える。学校がなくなると若い人がいなくなる。古川・水洗、古島・下妻・二川、水田単独。古川・水洗は筑後船小屋駅がある。地の利を活かして地区を造ってもら。古島・下妻・二川は、羽犬塚駅と西鉄八丁牟田駅などの地の利を活かした地域を造ってほしい。空き家対策で、市が5万円買って3万円で分譲するなどしないと人口はますます減る。2万円の差額は、固定資産などの税金でプラスになるはず。</p>	<p>この案で決定ではない。意見、アンケートの結果を基に庁内検討委員会で検討し、方針案を固めていく。こちらからいろいろ案を出してもどれがいいのかという風になるため、この案がベターであるということで1案をもって提案している。意見をもらい、検討するというスタンスである。</p> <p>空き家対策は問題意識、危機感はある。転入者の人数より新築の数が増えている。空き家が増えているということである。空き家対策は必要で、条例の作成、空き家活用についてなど行っている。中古は新築より難しくなかなか活用が進んでいない事実がある。案はいいが予算もあり難しい。いろいろ考えていきたい。</p>
--	--

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月21日(土)15:00~16:30

○場所:サンコア視聴覚室

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>水田小学校と水洗小学校の校舎自体が古くなっているという説明があったが、耐用年数を越えたということか。他の小学校はどのような状況か。</p>	<p>一般的に、手を入れなければならないようになる築年数があり、40年を超えてくると、以降も使用する場合は長寿命化対策を施して20年、30年保たせることが必要となる。</p> <p>水田小学校は既に40年を超えている校舎がある。水洗も同じ程度の築年数となる。</p> <p>各小学校で状況は少々異なる。資料を見なければ正確には回答できないが、南部だけで言えば平成39年度までに全校舎が築40年を超える。現在一番新しいもので築30年程。</p>
<p>跡地について、今後どうするかのかはまだないのか。現在最新の建物で築30年程であるならば、まだ10年近く使用は可能であり、少々もったいないと感じる。段階的に統合してはどうか。平成20年度辺りの3校合併の話では、ペンディングという結論となり、現状維持の方針が決定した。その3校合併を今やってみてはどうか。築40年までは猶予がある。財政的な問題もあるが、使用可能期間を考えるとそう考えてしまう。</p>	<p>筑後中学校区の6小学校の全ての校舎はすでに30年を経過している。特に水洗小学校と水田小学校については、非常に古い校舎が現存している。10年前の時点ではなかった校舎の老朽化問題も出ていることがあり、今回の提案をさせていただいた。これまでの会場で多くの意見はいただいております。その意見も踏まえ庁内で検討する。</p>
<p>【意見】6校統合の校舎を建てるなら、段階的に、10年後に増築するような計画で、という案もあるのではないかとと思う。</p>	
<p>大規模小学校のデメリットについて、教職員による児童一人一人に対して目が届き難くなる点があるが、これはいじめや不登校が増えることが分かっているという前提でこの話を進めているのか。児童が増えることによって9年間は子供が同じ環境にいることになる。体力面や勉強面での格差が生まれる。少人数であれば確かに伸びる能力が少なくなるとは思うが、児童数が増えればいじめや不登校が増えると思う。その点について伺いたい。</p>	<p>いじめや不登校の問題については、アンケートの中でも一番心配だという意見が多くあった。まず、いじめや不登校の問題を考えたとき、どの学校でも起こりうる問題だという前提で動いている。そして、どれだけ早く大人が気づけるかという事に全力を挙げて下さいと伝えている。</p>
<p>教職員が把握できないということは、気づきが遅れることにならないか。</p>	<p>児童数が増えるといじめが増えるという意見について、単純にいじめの把握する件数は増える。しかし、全校の児童生徒数における一人あたりのいじめ被害数は増えるわけではないという結果が出ている。学校全体の認知件数は児童数に比例して増えるが、児童一人に対する認知割合は増えているわけではないという事を認識していただきたい。但し、見逃しているのではないかと意見に対しては信じていただくしかない。更に、私はいじめの防止について、児童の目を重要視している。人間関係が固定化する少人数の学校では、いじめは見つけにくい場合がある。少人数の集団において一人の子供を他の全員がいじめるとなると、児童に隠されると大人は気づけない。しかし、大人数の学校であれば、他の集団、他の児童の目があることから隠せずに大人が認知することができる。そのため、児童が増えることによる認知件数の低下は起こらないと考え、再編計画を進めている。</p>

<p>スクールバスの移動について、何時何分にバスが来る、バスが出るということで、それに乗らないと通学・下校のできない児童世帯ができる。その場合、特に通学距離に比例して親の負担が増えると考えている。近隣の住民に支えてもらってはいるが、迎えに行くことが困難なケースがある。再編は、6校を一度に行うのではなく、段階的にしたほうが良いと思う。水洗小学校及び古川小学校の校区からは、踏切を渡る必要があり、通学に対するリスクが増える。中学生の通学で使用される自転車との接点も増え、スクールバスを出すにしても危険な部分が出てくる。安全面について地域の負担が増えるだけではなく、親の負担増が著しいのではないかと。</p>	<p>心配されることは沢山あると思うが、小学生と中学生が交差することについての心配は、羽犬塚中学校区が現在その状態にあるということをご認識いただきたい。スクールバスについては、時間で運用するという事を考えている。ただ、説明でも述べたが、たとえば校区毎のバス停の問題は残っており、停留所や経路については地域で考えていただきたいという思いを持っている。年度によって集落毎の児童数が変わることが考えられ、地域での協議会を立ち上げ、可能な限り地域の実態に合ったスケジュールを組んでいただきたい。毎年停留所や経路が変化するとも考えている。出発時間に遅れた場合については、送迎していただく他ないと考えている。現時点、再編していなくとも学校に遅刻するのであれば送迎しているはず。</p>
<p>遅れるようであれば送迎することはわかっている。学校までの送迎距離が増え、その送迎に係る所要時間が増えることが、親の負担増につながると言っている。10分で行けたのに20分、30分かかるとなる。</p>	<p>時間がかかるため早く起きて送り出す必要がある等、ご意見はいただいている。今回のご意見も参考に運用を考えたい。</p>
<p>今回の再編計画について、基本的に平成19年8月の筑後市立小学校学校再編構想並びに平成20年3月の審議会答申である筑後市立小学校再編整備計画を基にして作られているのか。</p>	<p>議会でも質問をいただいております。基本的に当時の答申に則った内容で庁内委員会を立ち上げた上で進めている。学校の規模などは、新たな課題(校舎老朽化・市の財政)を勘案し、どの方向が今現在の児童の将来にいい影響を与えるかという事を第一に考えた結果、答申とは異なる再編案となった。</p>
<p>今回の計画について、適正規模である水田小学校を含んでいることは納得できない。文科省も小学校の適正規模を出している。学校教育法施工規則には小学校の学級規模は12～18学級であること、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令には同様に12～18学級と記載されている。しかし、今回の再編計画では850人の児童が在籍することとなり、24～25学級となる。当初の答申とはかけ離れていることについて、どう考えているのか。当初の答申は活かされているのか。</p>	<p>文科省は「標準」と記載している。標準規模の学校は全国で約30%、標準以下の学校は40%以上となっており、全国で標準を下回っている学校が半数近くある。どこも再編を考えなければならないのが現状であると認識いただきたい。今回再編を行おうとしている規模の学校が約16%程で、それ以上の規模は6%程度ある。学校の規模は様々であり、文科省の言う「標準」は、この規模が運営しやすいのではないかとこの指標を出しているだけあって、今回提案している規模でも運営できると考えている。</p>
<p>全国のことを言っているのではなく、筑後市のことを言っている。筑後市が以前答申を出しているにも関わらず、今回の規模を提案し、10年近く前の答申からかけ離れていることはどうなのかと問うている。240～540人という規模についても850人となっているし、3校再編ではなく6校再編となっている。10年前の答申は適当に回答しているのではないかと疑ってしまう。10年経過して状況が変化しているのであれば、再度審議を行い、今回の状況で話を進めなおすべきではなかったのか。</p>	<p>3校再編の方針なども考えるべきではないかという意見として受け止める。</p>

<p>子供が近い将来結婚するかもしれない状況となったとき、どこに住むのかを選ぶことになる。昔であれば農家の長男は家を継ぐのが普通であったが、現在は違う。家を建てる場所を選ぶにあたり、条件を付ける。学校などの施設といった住みやすさを取った場合、過疎地域は衰退することとなる。子育てがしやすい、将来性のある地域が選ばれる。小学校というのは、人の住んでいる土地に建てられるので、昔は今ある小学校の周辺にたくさんの住民がいたと考えられる。その地域の将来性や現時点の環境を考えた上で小学校を建築するのであれば、なぜ水田を選んだのかという疑問が出る。水田以外の土地の方は、何故このような煩雑な土地に建てるのかと考えるのではないか。これからどのような小学校を建てるのか。新幹線の駅誘致時はこれで人口が増える、再編はなくなるという話を聞いた。ステーションスクールという言葉もあるし、将来性を見るのであれば駅周辺もいいのではないか。老朽化による建て直しや土地の購入で財政負担があるから水田小を選ぶといった形ではなく、学校なのだから子供たちの将来を考え、駅周辺に設置してほしいという思いがある。なぜ水田小学校の土地なのか。</p>	<p>新しい土地を購入する必要が生じ、経費と時間がかかる。そうなると古くなり手を入れなければならない学校の機能面の問題が出てくる。一方で、中学校との連携の考えで、隣接地に建設したほうが良いのではないかという意見もある。現時点での提案は水田小学校の土地にしているが、その件については今後も協議しなければならない。駅の活用については、まちづくりの視点からは非常に参考になる。しかし、今後の児童だけでなく、今筑後中学校区の小学校に通学している児童のことも考えて、現在の提案をしている。</p>
<p>水田のコミュニティセンターを利用している。この提案の場所に決定した場合、コミュニティセンターの野球場、テニスコート、弓道場を利用している数百人の利用者はどうするのか。</p>	<p>集会場及び運動場については、仮に現在の提案で決定した場合は多くの方に迷惑をかけることになり申し訳ないと思う。既存の利用者の活動場所については、検討しなければならない。その際の一つの案としては、水田小学校以外の小学校跡地の活用だが、跡地活用についても地域の皆様のほか、利用者の意見も踏まえながら、どのようにして活動の場を確保するのかを決定したい。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年7月22日(日)10:00~10:36

○場所:サンコア視聴覚室

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>適正な学校全体の児童数が240人から540人とある。統合することによって850人となり、適正児童数より大幅に増加するので、一人の先生が一人の生徒に対して見る割合が低くなり、いじめの問題等も懸念されると思うが、どう考えているのか。</p>	<p>今回の再編案について、保護者の方が一番心配されることは、児童数が増えることである。10年前の答申から考えると大幅に増えているが、先ほど説明したように、児童数の問題、校舎の老朽化の問題などを含めて、この案を提案させてもらって二川・古島・下妻小学校の3校の統合でもいいのではないかと、という意見ももらっているが、その3校で再編すると、平成29年度の数値で253人になる。「253人は適正児童数ではないか」という話になるが、将来を見通したときに、この時点で3校での統合が適切かどうかということで判断をしている。6校を統合した場合の851人というのは非常に多いが、10年後、20年後には適正児童数に近づいていくのではないかと考えている。要するに、今後も児童数は減少するというを前提に今の提案をさせてもらっている。</p> <p>また、児童数が増えることによって、教員の目が届きにくくなる可能性はあると思うが、子どもはあくまでも学級単位で生活をしている。筑後市では、35人以下学級というのを実施しているのので、1学級の児童数は増えない。そういう面で、やれるという思いで提案している。</p> <p>また、いじめの問題については、児童数が多い、少ないでいじめが多いか、少ないかというのは、あまり関係ない。学校全体の児童数が多ければ、当然いじめの認知件数は増えるが、一人当たりの件数が増えるわけではない。要するに、一人の子どもがいじめにあう可能性は、児童数が多い学校が高いかと言うと、そういうデータにはなっていない。逆に小規模学校の方が、人間関係が非常に固定化し、一つの組織の中でいじめが起こると、全部でそれをカバーしてしまい、大人から見えなくなる。日本全国で、いじめの自殺事案があっているが、大規模校、中規模校、小規模校それぞれで起きている。なので、児童数と一人に対するいじめの頻度というのは変わらないという思いの中で、今回の提案をさせてもらっている。</p>